数研『科学と人間生活』(科人/704) 観点別特色

（１）内容

・学習指導要領に示された学習項目が過不足なく適切に扱われている。

・取り組みやすさを考慮した観察や実験が数多く扱われており，目的意識をもちながら，探究心と思考力を身につけられるよう構成している。

・「コラム」では，生徒の身近にある具体的な話題を充実させ，日常生活と学習内容とを関連づけることで，生徒の興味関心を向上させられるよう配慮されている。

・特集ページとして「フォトサイエンス」を設け，美しく興味深い写真を多数掲載することで，生徒の学習意欲を高められるよう工夫している。

・序編「生きる 人間生活の歴史」では，科学技術の発展の歴史をテーマごとに分けて時系列的に扱い，豊富な写真とともに興味・関心を育めるように構成している。

・「復習」では中学校の学習事項を簡潔にまとめている。

（２）構成・分量

・学習指導要領にもとづいた構成・分量になっている。

・「見開き2ページ」の単位で構成されているため区切りがよく簡潔な構成となっており，年間を通して見通しのよい授業計画を立てやすい。

・各見開きでは，冒頭に「Q」，末尾に「チェック」をそれぞれ設け，生徒が目的意識や見通しをもちながら学習に入れるばかりでなく，その見開きの学習事項の要点を振り返り，無理なく次の学習へとつなげられるように配慮している。

・「まとめと演習」では，各節に対応した十分な演習要素を設け，着実に学習内容を習得できる。

・各章の末尾に「将来×サイエンス」，「ニュースペーパー」，「未来をひらくSCIENCE」を設け，学んだ知識を活かしてもう一歩先へと生徒を向かわせ，理科を学ぶ意義を実感させる工夫をしている。

・デジタルコンテンツとして，学習内容に関連した実験映像やアニメーション，参考資料，活動を行うためのツールなどが多数用意されており，二次元コードによって簡単に利用でき，生徒が自主的・主体的に学習に取り組める。

（３）表記・表現及び使用上の便宜

・ワイドな紙面を活かし，写真や図版を大きく見やすいように掲載している。

・中学校以上で学習する漢字や読みにくい漢字には適宜，ふりがな（ルビ）を振り，生徒自身で無理なく読み進められるように配慮している。

・用紙は，丈夫で薄く軽いものを用い，生徒の日々の持ち運びに負担がかからないようにしてある。

・図版の色使いにはカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに，本文などの文字には見やすく読み間違えしにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

（４）その他

・指導方法の解説に重点をおいた教授資料が用意されている。付属のデータ類も充実しており，テスト作成用の問題データや指導者用デジタル教科書を収録している。